

中小企業初！テレワーク総務大臣賞受賞

テレワークセミナー

セミナー主旨 中小企業にこそ、テレワークの導入が必須

弊社がテレワークをスタートしたのは、2016年5月。当時は下記のような悩みを抱えていました。

- 持病があり、体調不良により就労が困難になってしまった女性社員
- 子供がまだ小さく、子供の体調不良で急な欠勤に悩んでいた女性社員と現場

社員数20名未満と企業規模も小さく資金も無かった弊社では、通常であれば上記のような社員には辞めてもらうしか無いような状況でした。

「なんとか社員の雇用を継続し、笑顔で働ける環境が創れないか。」右も左も分からないまま取り組んだのがテレワーク（当時は在宅ワークと呼んでいた）でした。

以降テレワークを活用することで様々な経営課題の解決につながり、全国でも中小企業のテレワークの導入事例として、多々取り上げられています。

今回は自社の事例を踏まえて、**分かりやすく直ぐにでも導入できる活用事例**をお伝えします。

下記の課題を感じておられる方は、是非ご参加ください

- 採用力向上
- 生産性向上
- 残業問題
- 育休産休
- 介護



開催日 **3月4日 14日 20日** ※全て同様の内容です
受付開始 13:00 セミナー開始 13:30 終了時間 15:30

定員 **8名** 受講料 **無料** 場所 〒702-8035 岡山県岡山市南区福浜町15-10（旧石井事務機センター 2F）

実際に弊社でテレワークを体感できます

お申し込み方法 下記いずれかで、お問い合わせください ※FAXでお申込みの際は、ご記入の上ご返信ください。

TEL 086-263-2113 FAX 086-263-2605 MAIL  ishii-gp@ishiijc.co.jp

御社名	役職名	氏名	連絡先

表彰・取得資格 (一部抜粋)

2016年	総務省 テレワーク先駆者百選受賞
2017年	ブランディング事例コンテスト 大賞・中小企業特別賞 W受賞 おかやま子育て応援宣言企業認定、健康経営優良企業認定、女性の活躍推進宣言認定
2018年	岡山県・(公財)産業振興財団 ビジネスプランコンテストファイナリスト 総務省 中国総合通信局 局長賞 船井財団 グレートカンパニーアワード2018 ノミネート 総務省 テレワーク総務大臣賞受賞



総務省 テレワーク先駆者百選受賞



ブランディング事例コンテスト



ビジネスプランコンテスト



テレワーク総務大臣賞受賞

講演実績 (一部抜粋)

総務省主催「テレワークデー」	2017年7月18日講演
総務省主催「働き方改革」	2017年8月30日講演
岡山県働き方改革推進会議	2017年9月6日講演
総務省主催テレワーク講演in岡山	2017年10月11日講演
ぱらママ主催「女性活用セミナー」	2018年2月14日講演
総務省主催テレワーク講演in新潟	2018年9月11日講演
総務省主催「テレワークデー」	2018年11月29日講演

特に在宅ワーク支援の取り組みは2016年11月、総務省の「テレワーク先駆者百選」に選出され、大企業の中で唯一と言っている地方の中小企業からの受賞となった。

また、「働く、を変える日」のテレワーク・デイ・イベントにて地方の中小企業から唯一の代表として、パネリストを務めた。

これらの取り組みが、現在の「働き方改革」の流れとマッチし、社員数30名弱の企業規模ながら、岡山県内の希望就職先ランキングで9位にランクイン。2018年11月には、総務省の「テレワーク先駆者百選 総務大臣賞」を中小企業で初めての受賞となった。



山陽新聞 2018年4月4日 掲載

来春卒業予定の大学生らの希望就職先ランキング

順位	企業名
1	(2) 中国銀行
2	(1) 両備グループ
3	(7) 両備システムズ
4	(3) トマト銀行
5	(8) 天満屋
6	(6) ハヤシ
7	(5) おかやま信用金庫
8	(9) 山陽新聞社
9	(12) 石井事務機センター
10	(4) 日本(カ)オハヨールディングス
11	(66) 廣栄堂
12	(17) ハローズ
13	(21) カイタック
14	(48) ベネッセインフォシエル
15	(18) クラブ
16	(23) ライト電業
17	(204) イタミアート
18	(72) セキスイハイム中四国
19	(43) 山陽マルナカ
20	(14) 林原

※かっこ内は前年順位

山陽新聞2018年4月4日

レクチャラー

株式会社 ワークスマイルラボ (旧石井事務機センター)

代表取締役 **石井 聖博**

岡山市出身。キャノンマーケティングジャパン株式会社を経て、2015年から地域の老舗企業の4代目として現職につく。

お客様へより良い働き方を提供する企業となるべく、まずは自社の働き方改革へ着手し、中小企業に特化したテレワークやICTを活用した多様な働き方改革に常に挑戦している。本社をライブオフィス化し、実際に働いている姿を見て体験頂ける“ワクスマ”に力を入れている。

